



# ひらせい リフォーム 施工事例

リフォームかわら版  
vol.81

今回は、**扉の種類とメリット・デメリット!** についてのお話です。

扉には大きく分けて「引き戸」「開き戸」「折れ戸」の3種類があります。それぞれメリット・デメリットがあります。設置する場所や使用する方の使い勝手を考慮して選定しましょう。特にご高齢の方には、開口部が広く出入りしやすい「引き戸」がおすすめです。

引き戸	開き戸	折れ戸
<b>メリット:</b> 開口部が広く取れ出入りし易い、風通しし易い  <b>デメリット:</b> 気密性が取り難い、音がもれ易い、レールにゴミが溜まり易い、扉収納部の壁面を使えない	<b>メリット:</b> 気密性が良く、音もれ難い、掃除がし易い  <b>デメリット:</b> 扉を開閉する際にスペースをとるので高齢者や身体の不自由な方は使い難い	<b>メリット:</b> 開口部が省スペースで設置出来る、デッドスペースが少ない  <b>デメリット:</b> 引き戸に比べ、折りたたまる分、開口部が狭い、掃除がし難い

開き戸には「内開き」と「外開き」があります。内部が狭いトイレや浴室の場合、「内開き」ですと万が一、中で人が倒れた際、ドアが体にぶつかり助け難いという問題があります。



## 安全で快適な、家族の使い易い扉にしましょう!



↑トイレの**2枚連動引き戸**。連動引き戸は限られた寸法の中で片引き戸より広い開口スペースを確保できます。



↑浴室の**片引き戸**、2cm近くあった床段差も解消され、浴室～洗濯・洗面室～トイレまでバリアフリーになりました。



↑開口スペースがとれず引き戸にも開き戸にも出来ず、**折れ戸**にしました。壁面にスイッチの取付も可能になりました。



↑猫窓のついた**引き戸**。玄関ホールに明かりが差し込むようスリット窓を付けました。



↑廊下の通路確保のため内開きの**開き戸**にしました。

マグネット  
ストッパー付



お気軽にお問い合わせ下さい!

 **0120-312-341**



**エクステリア**  
住まいのお手伝い  
事業部